

令和5年 業種別労働災害発生状況

(令和5年1月1日～12月31日)未確定

浦河労働基準監督署

浦河署管内	令和5年			前年同期			対前年		本年分	
	死亡	休業	合計	死亡	休業	合計	増減数	増減率	割合(%)	
全産業計	3(1)	174	177	1()	182	183	-6	-3.3%	100%	
業	製造業	()	9	9	()	12	12	-3	-25.0%	5.1%
	食料品	()	3	3	()	6	6	-3	-50.0%	1.7%
	木材木製品	()	2	2	()	2	2			1.1%
	家具・装備品	()			()					
	窯業・土石	()	1	1	()			1		0.6%
	金属・機器	()			()	1	1	-1	-100.0%	
	その他	()	3	3	()	3	3			1.7%
種	鉱業	()			()					
	土石採取業	()			()	1	1	-1	-100.0%	
	建設業	2()	9	11	1()	9	10	1	10.0%	6.2%
	土木工事業	2()	7	9	1()	3	4	5	125.0%	5.1%
	建築工事業	()	2	2	()	2	2			1.1%
	木造建築業	()			()	3	3	-3	-100.0%	
	その他	()			()	1	1	-1	-100.0%	
内	道路貨物運送	()	3	3	()	4	4	-1	-25.0%	1.7%
	その他の運輸	()			()					
	陸上貨物取扱	()	2	2	()			2		1.1%
	港湾荷役業	()			()					
訳	林業	()	1	1	()	1	1			0.6%
	漁業	()	5	5	()	3	3	2	66.7%	2.8%
	卸・小売	1(1)	2	3	()	5	5	-2	-40.0%	1.7%
	清掃業	()	2	2	()	4	4	-2	-50.0%	1.1%
	畜産業	()	115	115	()	108	108	7	6.5%	65.0%
	その他の事業	()	26	26	()	35	35	-9	-25.7%	14.7%

本統計は、12月末までに提出を受けた労働者死傷病報告(休業4日以上)により作成したものの、死亡災害者数の()欄は交通事故(道路交通法適用)で内数。

1 労働災害発生状況について
 令和5年12月末現在の全産業における死亡及び休業4日以上の労働災害は177件で、前年同期より6件減少となっています。12月中に把握した労働災害は15件で、業種別の内訳は建設業(土木工事業)1件、畜産業14件でした。事故の型別統計は以下の通りです。

事故の型別統計(軽種馬産業除く)(令和5年1月1日から同年12月31日まで)


	墜落、転落	転倒	はさまれ、巻き込まれ	激突	飛来、落下	切れ、こすれ	交通事故(道路)	激突され	動作の反動、無理な動作	高温・低温の物との接触	その他	総計
件数	8	13	5	5	3	4	5	5	4	4	9	65
全体占有率	12.3%	20.0%	7.7%	7.7%	4.6%	6.2%	7.7%	7.7%	6.2%	6.2%	13.8%	100.0%

令和5年の災害統計(令和5年1月1日～12月31日に発生した災害の統計)は令和6年3月までに提出された死傷病報告から集計いたしますので、これは12月末時点での速報値です。

2 「北海道冬季ゼロ災運動」への取り組みについて
 新年となり、気持ちを新たに業務を行っていただいているところかと思えます。各事業者様に置かれましては、今年一年のゼロ災を達成できるよう、呼びかけをお願いいたします。一方で、道内各地で屋根からの雪下ろし中の災害、路面の凍結による転倒や交通事故等、冬季特有の災害が発生しております。北海道労働局においては、「北海道冬季ゼロ災運動」を展開しておりますので、下記URLに掲載されたリーフレット等を参考に、社内で冬季災害防止の周知徹底をお願いいたします。
https://jsite.mhlw.go.jp/hokkaido-roudoukyoku/hourei_seido_tetsuzuki/anzen_eisei/anzen-kankei/saigai/toukisaigaiboushi.html (北海道労働局特設ページ)

今月のコメント

QRコードはこちら



(裏面に続く)

軽種馬災害防止対策について

令和5年12月末現在の軽種馬産業における災害発生状況、災害の内容別統計は以下のとおりです。

災害の内容別統計(軽種馬産業)(令和5年1月1日から同年12月31日まで)

	落馬	騎乗中に柵等に接触	馬とともに転倒	蹴られた	踏まれた	引っ張られた	馬に激突された	引き馬中に転倒	その他(馬扱い中)	その他(馬以外)	総計
件数	30	8	10	17	8	6	15	3	4	11	112
全体占有率	26.8%	7.1%	8.9%	15.2%	7.1%	5.4%	13.4%	2.7%	3.6%	9.8%	100%

12月に新たに把握した労働災害は11件で、内訳は、「落馬」6件、「騎乗中に柵等に接触」2件、「馬とともに転倒」1件、「踏まれた」1件、「馬に激突された」1件となっており、11件中10件が馬に騎乗中の災害でした。報告いただいた内容から、1歳馬の騎乗馴致中の災害が多かったように推察されます。馬の行動に起因する災害を防ぐことは非常に困難ですが、引き続き、馬の特性や騎乗時の注意点の共有、適切な保護具の選定や受け身の取り方等のけがのリスクを低減する方法の検討等を事業場内で共有いただきますようお願いいたします。

「畜産業労働災害防止対策等説明会」を開催します！

浦河労働基準監督署は、畜産事業者を対象として、労働災害の増加傾向に歯止めをかけること、労働条件管理の知識を深めていただくことを目的とし、下記のとおり説明会を開催いたします。浦河労働基準監督署管内の畜産事業者様には近日中にご案内の文書を発送予定ですが、畜産事業者様以外、または当署管轄地域外の事業者様で参加を希望される方がいらっしゃいましたら当署安全衛生担当までご連絡ください。

1 日時および開催方法

Zoomによるオンライン開催、下記2回開催予定

(内容は同一ですのでご都合のよい方の日時でご参加下さい。)

(1) 令和6年1月31日(水) 13時00分より60分程度

(2) 令和6年2月6日(火) 13時00分より60分程度

2 対象 当署管内の畜産業事業者(案内については1月中旬までに発送予定)

3 内容

(1) 畜産業における労働条件管理について

(2) 畜産業における労働災害発生状況、労働災害防止対策について